



*この広報誌はピーススタッフをはじめ、利用者様他
ピースに関わる方々のご協力のもと作られています。

YMCA訪問看護ステーション・ピース 編集部
広島市中区八丁堀7-11
TEL 082-225-3020
FAX 082-225-3032



新年あけましておめでとうございます



2018年がスタートしました。

この冬はラニーニャ現象で例年より寒くなりそうですね。

さて、今年は成年です。成年生まれの人は、「物事に対して熱心で正義感が強く、真面目で忍耐強く働き者」といわれているそうです。また、「義理人情に厚く協調性も高く、社会性がある」とも言われています。ピースもいろいろな方々、いろいろな機関と連携を取りながら在宅ケアに更に熱心に取り組んで参りたいと思います。

YMCAにおいては、昨年10月からロゴが変わりました。鳥が飛び立とうとする瞬間の姿を、アルファベットのYが想起される形に重ねあわせています。



本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

↑新しいYMCAのマークです



食べることと話すことのリハビリ

はじめまして。
言語聴覚士の
佐々岡未央です。



「言語聴覚って何？」とよく尋ねられますが、私は食べることと話すことのリハビリとお答えしています。人は食べることで命の元になる栄養を取り入れ、話すことで意思を伝え他者と関わることができます。これらの大切な問題に、ともに取り組ませていただきたいと思います。よろしくお願いします。





【その1】～セリーグ制覇燃えました！～

来シーズンに向けて練習を再開した鈴木誠也外野手が、「ナイス ケガ！！」とコメント。



ケガをして自分を前向きに見つめ返し、考え方が変わったとのこと。

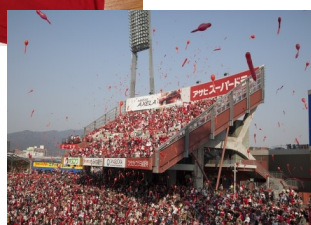


この見直す力、私たちの訪問看護に活かしていきたいです。

【その2】～CSでの敗北のショックから

ハッピーエンドなドラフトへ～

広陵高校の中村奨成くんカーブ入団。甲子園での活躍も記憶に新しい、地元出身の強肩強打の捕手です。



彼の恩師である中井監督は、野球部は大家族、本気で自分の子供と思ひ、家族として「生きる力」を育てているそうです。

リハビリしています

作業療法士の宅間です。

主に小児を中心に、訪問をしています。また、『こども発達相談』を月2回土曜日に行い、お子様の成長や発達についてのお悩みや心配事への専門的な療養支援のアドバイスをしています。

お気軽にご利用ください。

詳細は

<https://www.ymcapeace.com/>

こども発達相談/



リレーフォーライフ (RFL)

がんと向き合う人々を応援する、RFL広島に参加しました。がん体験者やご遺族の話に涙したり、貴重な講演で学んだり、夜通し歩いたり…さまざまイベントを通して、たくさんの方々と交流をしました。がんと告げられ、不安や誰にも話せない悩みを抱えている方々に「独りじゃないよ。周りには力になりたいと思っている人がいるよ」という気持ち（メッセージ）を伝え続けていきたいと感じ、次回（2018年9月ごろの予定）の開催が待ち遠しくなりました。

あさまだき

2017.12
西区庚午にて

